

■アシスト編

1	「更級日記」菅原孝標女……………	16年度・福岡大学	4
	中古の日記		
2	「平家物語」……………	17年度・近畿大学	7
	中世の軍記物語〔客観1〕		
3	「花月草紙」松平定信……………	16年度・駒澤大学	10
	近世の随筆〔客観2〕		
4	「春雨物語」上田秋成……………	17年度・甲南大学	14
	近世の読本		
5	「住吉物語」……………	16年度・日本大学	17
	中世の擬古物語〔客観3〕		
6	「無名抄」鴨長明……………	18年度・近畿大学	21
	中世の歌論〔客観4〕		
7	「本朝女鑑」……………	17年度・京都女子大学	23
	近世の仮名草子〔説話集〕		
8	「松浦宮物語」……………	16年度・神戸女学院大学	28
	中世の擬古物語〔客観5〕		
9	「建礼門院右京大夫集」建礼門院右京大夫……………	16年度・広島修道大学	33
	中世の私家集・日記		
10	「石上私淑言」本居宣長……………	16年度・南山大学	35
	近世の歌論〔客観6〕		
11	「広益俗説弁」井沢蟠龍……………	17年度・青山学院大学	39
	近世の随筆〔客観7〕		
12	「落窪物語」……………	18年度・明治大学	43
	中古の作り物語〔客観8〕		
13	「恋路ゆかしき大将」……………	18年度・明治大学	47
	中世の擬古物語		
14	「沙石集」無住……………	18年度・学習院大学	51
	中世の説話集		

15	「大鏡」……………	18年度・日本女子大学	56
	中古の歴史物語		

■実践編

16	「大和物語」……………	17年度・立教大学	59
	中古の歌物語		
17	「とりかへばや」……………	18年度・立命館大学	62
	中古の作り物語		
18	「十訓抄」……………	17年度・中央大学	65
	中世の説話集〔客観9〕		
19	「今物語」……………	16年度・法政大学	68
	中世の説話集		
20	「風につれなき」……………	17年度・龍谷大学	71
	中世の擬古物語〔客観10〕		
21	「しぐれ」……………	18年度・同志社大学	75
	中世の擬古物語		
22	「和泉式部日記」……………	17年度・フェリス女学院大学	79
	中古の日記		
23	「菴心集」鴨長明……………	18年度・関西学院大学	82
	中世の仏教説話集		
24	「徒然草」兼好法師……………	17年度・早稲田大学	87
	中世の随筆		
25	「源氏物語」紫式部……………	18年度・聖心女子大学	91
	中古の作り物語		
26	「蜻蛉日記」藤原道綱母……………	18年度・上智大学	95
	中古の日記〔客観11〕		

■重要古語一覧 98

■設問形態別一覧表 102

(注)出題年度は西暦下2ケタで表しています。

(例)16年度→2016年度

目次 はしがき

- 〔本書の特長〕
- ① 本書は、直近の三年間に実施された私立大学の入試問題の中から、選りすぐった問題を収録した、読解トレーニンング用の実践問題集です。生徒達に古文を読む力を身に付けさせたいという思いを持って、実際に高校の教壇に立つ先生方が集まり、検討した上で書いています。
 - ② 自学自習できるように、別冊の【解答考察編】で、正解にいたるまでの考え方を一問一問丁寧に解説し、見やすく記述しています。記述の場合は採点基準を記し、自分で採点しやすくしています。
- 〔効果的な活用法〕
- ① まず前書きと本文全体を読んでから問を考えますが、答えは問題に書き込まず、ノートや別の紙に書きます。アシスト編の場合は、内容がわかりにくければ、問と同時に確認問題や補充問題を解くのもいいでしょう。
 - ② 解答を確かめ、【考察】を丁寧に読んで理解します。時には文法書に戻ったり、辞書を引いたりして、覚えていなかった単語や文法事項を覚えてしまいます。カードや専用のノートに書き出して、何度も見て覚えるのが効果的です。
 - ③ 本文を句点ごとや読点ごとに訳し【現代語訳】で確かめます。訳に納得がいかなければ辞書を引いたり、アシスト編の場合【品詞分解】で確かめたりします。そして【本文の構成】を読んで内容を整理します。
 - ④ 最後に【作品（作者）解説】や【参考】で文学史などの必要な古典常識を確認します。
 - ⑤ 一ヶ月くらい経ってから、もう一度解いてみます。あらすじなどを覚えていても構いません。選択肢のどこが違うのか、

説明できるようになっていたら力がついた証拠です。忘れてしまった単語や文法などはまた覚え直します。

ここに収められた二十六題の入試問題に繰り返し取り組んで読解力を身につけ、志望校の合格証書を手にするを願ってやみません。

平成三十年五月

新国語問題集編集委員会

- ▼入試問題の難易度を考慮して、アシスト編と実践編の二つに大別した。いずれも改作はしていない。ただし、アシスト編の本文下欄に、次のことを付加した。
- 〔確認問題〕 語句・文法を中心とした基礎知識を問う設問。
- 〔補充問題〕 オリジナルの創作設問と他大学の問との混合。
- ▼〔客観1〕～〔11〕は、すべての設問が選択肢形式の問題である。
- ▼〔問〕 要旨・主題に関する「問」を中心として、その問題の根幹となる設問に◎印をつけた。
- ▼〔解答欄〕 すべての解答が書き込めるようになっている。ただし、選択肢問題で記号を○で囲めば済むものには、あえて欄を設けなかった。
- ▼〔別冊・解答考察編〕 設問一つひとつについて、正解にいたるまでの考え方（過程の演習）を詳細に考察している。また、記述式設問には、必要に応じて【評価の基準】を設け、解答点検のポイントを記している。